

## 平成26年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b> <input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b> <input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b> <input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	山岸
	<b>全体計画</b>			<b>経費区分</b>	<b>実施計画事業費</b>	<b>内線</b>	3645
<b>事務事業名</b>	4295 教育相談事業						
<b>所 属</b>	300200 教育委員会事務局・子ども課						
<b>施 策</b>	02020900 子育て環境の整備						
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計					
	<b>科目</b>	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費					
	<b>事業</b>	070000 教育相談事業					
<b>事業目的</b>				<b>事業概要・効果</b>			
<p>3歳児健診以後、小学校入学までの間の児童の発達状況を早期に把握し、発達障がい疑われる児童とその保護者に対し、早期療育支援等子育て支援を的確に行うとともに、幼稚園・保育園へも支援を行い、児童の就学に向けて総合的な支援を行う。</p>				<p>平成18年度から子ども課に専任のコーディネータを配置し「5歳児すこやか相談事業」を実施。対象児童全員のアンケート調査（保護者・クラス担任）を基に各園を巡回する中で、個別に支援が必要な児童を早期発見し、療育教室へ繋げるなど早期支援を行う。併せてアンケートで児童の心配な点を上げてきた保護者全てに、スタッフから現在の児童の姿を伝えるなど保護者への支援も実施。小学校に入学後も個別配慮・支援、継続観察が必要と思われる児童については、小学校へ引き継ぐとともに巡回を実施。幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添い継続支援ができる。</p>			

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
対象児童：461人 アンケート回収率(保護者99.6%、保育士等100%) 巡回 5歳児65回 6歳児62回 小1 20回 すこやか教室10回 すこやか研修会 1回	対象児童：461人 アンケート回収率(保護者99.6%、保育士等100%) 巡回 5歳児65回 6歳児62回 少1 20回 すこやか教室18回 すこやか研修会 1回
平成26年度 予定	平成27年度 予定
発達アンケートの実施 巡回 5歳児、6歳児、小1 すこやか教室 すこやか研修会	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		645	693
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		645	693
人員数 (人)	正規職員	1.0	0.0
	嘱託職員	3.0	4.2
	臨時職員	0.8	0.8
人 員 コスト	正規職員	6,858.0	0.0
	嘱託職員	8,175.0	11,445.0
	臨時職員	941.6	941.6
	計	15,974.6	12,386.6
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		16,619.6	13,079.6

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	275	臨床心理士相談・すこやか研修会講師謝礼
11節 需用費	215	発達検査用紙の購入、すこやか教室教材費など
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	155	療育指導員・巡回教育相談員旅費、電話使用料など

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	430	臨床心理士相談・すこやか研修会講師謝礼
11節 需用費	86	発達検査用紙の購入、すこやか教室教材費など
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	5	
その他	172	療育指導員・巡回教育相談員旅費、電話使用料など

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	発達障がい疑われる児童の早期発見・早期療育による児童の成長の促しと保護者支援を行うことで、スムーズな就学に繋げている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	乳幼児健診後の児童の発達の見守りを保証し、幼保小で連携して行うことで切れ目のない支援ができている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや悪化
評価コメント	事業の性質上、専門資格のある職員の関与を必要としているが、現在、作業療法士を臨時職員として確保できていることでコストを抑えることに繋がっている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

幼保小が連携しきめ細やかな事業展開ができている。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>須坂市の子育て支援の核となる事業。 今後も幼保小が連携し、支援の充実を図っていく。</p>		<p>幼保小が連携し、児童一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援ができています。</p>	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	